



## キラキラレンジャー始動！

5月10日に3～6年生が集まり、東小学校をよりよくしていくための話し合い「児童総会」が行われました。今年のテーマは

「全校なかよしみんなで協力東っ子～一人一人の笑顔が心を一つにする～」です。初参加の3年生を含め、どの学年も執行部からの原案を真剣に検討し一年間の活動をどう進めるかについて意見を交わしていました。



キラキラレンジャー参上！

その中で決定した活動の柱の一つ「キラキラレンジャー」全校でまもりたい生活目標を皆に達成してもらうために毎月頑張るヒーロー(ヒロイン?)が誕生しました。子供達がつくる子供達の活動。これからは楽しみです。

## 広げよう！人権の花



5月20日、村長さんをはじめ人権擁護委員など多くの方々に御来校いただき、東小学校に「人権の花」が贈呈されました。「人権」という言葉は子供達にとって難しいですが「自分や友達を大切にすること」という説明を頂きました。贈呈の二日後には子供達一人一人の願いと花の種をのせた風船が空いっぱい放たれました。学校に咲く花をみてその大切さをずっと忘れないでほしいと思います。また子供達が空へ飛ばした風船にのせたメッセージが誰かの手に届き、人権を大切にしようとする輪がさらに広がっていくことを願っております。

## 「褒めて伸ばす子育て」 学校保健委員会開催！

6月5日、音楽室にて、平野診療所の塩田睦記先生を講師としてお招きし、学校保健委員会が開催されました。

まず、体罰による躰は、暴力を肯定することになり、躰は次代へ連鎖していくというショッキングな話題からスタートしました。褒めることの効果や「褒めて伸ばすと言っても実際には難しいでしょう。」という疑問に対し、「子どもは出来なくて当然。だから当たり前に出たことから褒めていこう。」など目から鱗の話がたくさんありました。日本の子ども達は他国と比べ自己肯定感が低いと言われています。将来、子供達が困難に出会ってもくじけてしまわない強い心を育てて行くために、私たちは「褒めること」の大切さを再認識する必要があったと感じました。ご参加頂いた保護者の方々、ありがとうございました。



6月5日、音楽室にて、平野診療所の塩田睦記先生を講師としてお招きし、学校保健委員会が開催されました。まず、体罰による躰は、暴力を肯定することになり、躰は次代へ連鎖していくというショッキングな話題からスタートしました。褒めることの効果や「褒めて伸ばすと言っても実際には難しいでしょう。」という疑問に対し、「子どもは出来なくて当然。だから当たり前に出たことから褒めていこう。」など目から鱗の話がたくさんありました。日本の子ども達は他国と比べ自己肯定感が低いと言われています。将来、子供達が困難に出会ってもくじけてしまわない強い心を育てて行くために、私たちは「褒めること」の大切さを再認識する必要があったと感じました。ご参加頂いた保護者の方々、ありがとうございました。

## 異学年同士の関わり



(体力テスト)



(学校探検)

東小学校では、体力テストは高学年の児童が低学年の児童のサポートをしながら行われます。また、先日行われた一年生の学校探検では、まず2年生が1年生をつれて学校内の施設などを案内してくれていました。この他、縦割り班活動など異学年同士が交流できる機会が多くあります。学年が下の子達は上の子たちから学ぶ。上の子達は下の子達の面倒をみたり助けてあげながら相手を思いやることを学ぶ。そんなことが当たり前に行われている東小はとても素晴らしいですね。